

「生きること・食すこと」

第 2 回 ～チベット仏教とチベット料理に親しむ～

今春、チベット仏教会の重鎮でダライ・ラマ法王の信任も厚いロサン・デレ・ケン・リンポチェが来日されることとなりました。「ミスター入中論」とも称されるロサン・デレ・ケン・リンポチェは、ギュメ寺 101 世管長であり、僧侶 5000 人を擁するセラ寺チェ学堂の管長も務めた、チベット仏教における当代随一の学僧です。

この度の来日に合わせ、下記日程で、説法会を開催致します。リンポチェのお話はチベット仏教にとどまらず、広く現代の私達の抱える悩みにも明瞭な光を当てて下さるものです。また、説法会の後には、随行僧デンダル師によるチベット料理を楽しんで頂きます。

チベット料理の中でも、僧伽の中で僧侶達によって受け継がれてきた料理は、仏教の宗教儀礼や伝統医学の影響を受けており、頂く生命と人々の喜捨への感謝に基づいて、布施された食材を無駄なく大切に使って作られるものです。

これは、中国医学をルーツとして現代医療の中でも重要な役目を担っている日本の伝統医学である“漢方 (kampo)”の食養生にも通じる考え方で、健康の要でもあります。

チベット仏教と食を通じて、チベットの文化に親しみたいと思います。

皆様のご参加をお待ちしております。

日 時 平成 31 年 4 月 14 日 (日)

10:30 受付開始

11:00 開会

11:10 説法会

阿闍梨 ロサン・デレ・ケン・リンポチェ

通訳 平岡 宏一先生 (清風中学校・高等学校校長、種智院大学客員教授、

NPO 法人 Samaya プロジェクト 21 理事)

12:00 質疑応答

12:30 休憩

12:45 懇親会 (チベットの僧院に伝わるチベット料理をビュッフェスタイルで楽しんでいただきます。精進料理ではありません。)

15:00 終了

場 所 銭屋本舗 本館 4F 大阪市天王寺区石ヶ辻町 14-6

会 費 5,000 円 (当日、受け付けにて頂戴いたします。) ※会費にはお布施が含まれております。

定 員 40 名

お申込方法 以下の内容をご記入の上、メール (info@samaya.jp) または FAX (075-352-0900) でお申込み下さい。

件名: チベット仏教とチベット料理に親しむ

①お名前、②郵便番号、③ご住所、④電話番号、⑤メールアドレスまたは FAX

協 力 種智院大学同窓会近畿支部

<お問い合わせ先> NPO 法人 Samaya プロジェクト 21 事務局

TEL: 075-352-0804 FAX: 075-352-0900

E-mail: info@samaya.jp https://samaya.jp/

## 阿闍梨 ロサン＝デレ 猊下

- 1939年 ティウカム・カルゼ地方生まれ、7歳で出家
- 1957年 ラサのセラ寺チェ学堂へ入門
- 1959年 チベット動乱の際にインドへ亡命
- 1987年 顕教の最高学位ゲシェー・ハランプ獲得  
〔ゲルク派の第1位（仏教博士号）〕
- 1988年 密教学習のため、密教総本山ギュメ寺に入門
- 1990年 ギュメ寺所属のゲシェー（仏教博士）密教問答大会第1位
- 2002年 ダライ・ラマ法王の指名でギュメ寺副管長就任
- 2005年 ギュメ寺第101世管長就任
- 2008年 管長任期満了
- 2012年 ダライ・ラマ法王の指名でセラ寺チェ学堂管長就任
- 2017年 セラ寺チェ学堂管長退任

セラ寺にはチェ学堂・メ学堂の両学堂があり、5,000人の僧侶が在籍しており、ロサン＝デレ師はその中で最高の秀才と言われている。

とりわけ、“空”に関する理解が深く、ゲルク派では畏敬の念を込めて“ミスター入中論”と渾名されている。